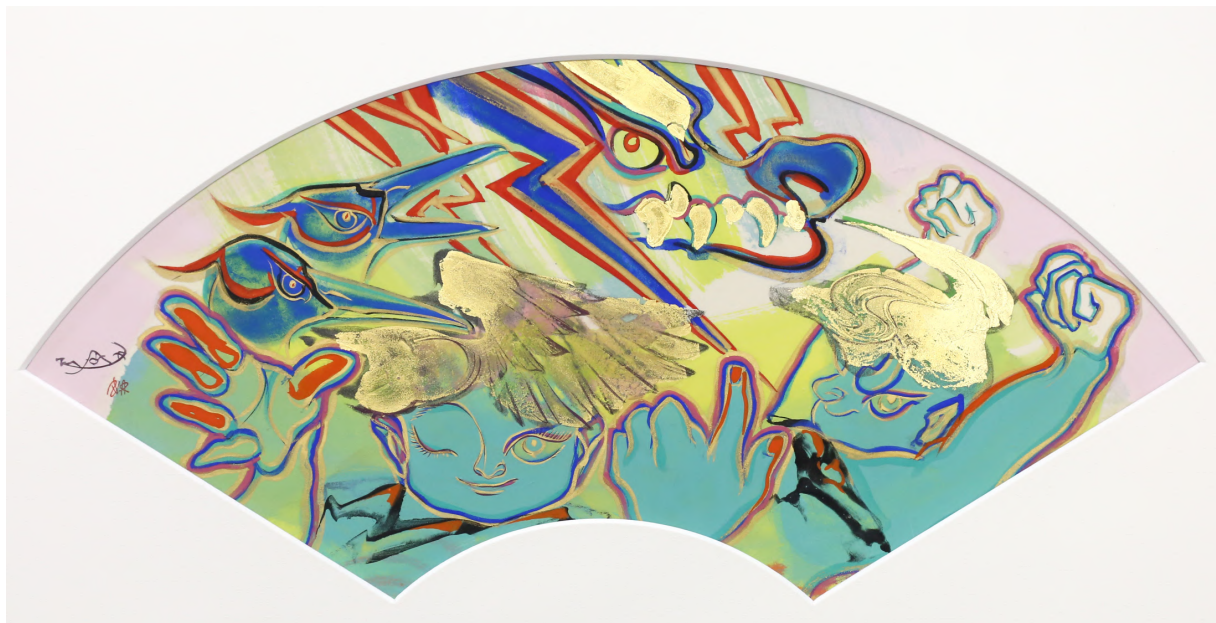


# 日本画 扇面 制作手順

東京藝術大学非常勤講師 川崎麻央

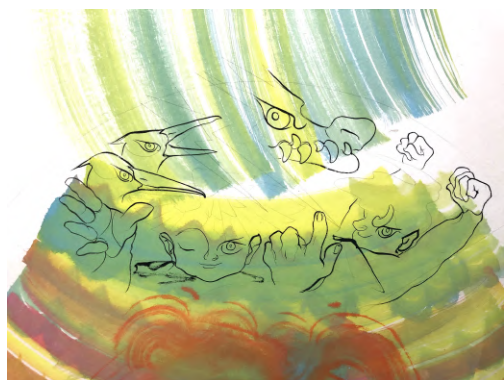


「雷神風神 -嵐が来る-」



①木製パネルに和紙(雲肌麻紙)をヤマト糊や水張りテープなどを使い、水張りする。

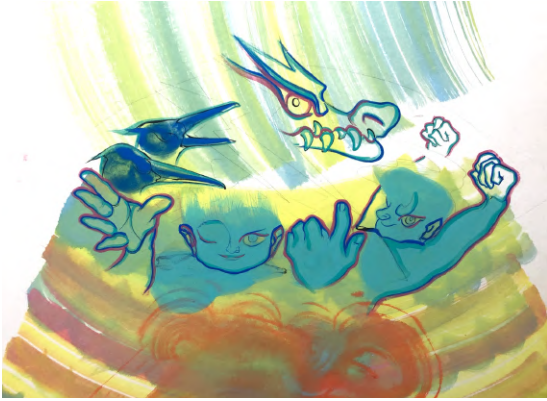
②水干絵具の黄、青、赤の三色を膠で溶き、刷毛で適当に紙全体に模様を作る。



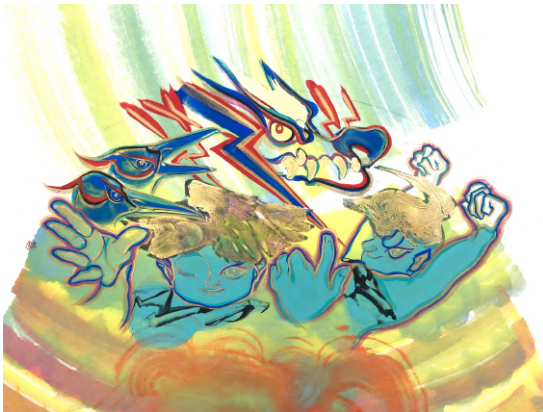
③偶然できた刷毛の模様や色から、何を描くかをイメージし、和紙の表面にトレーシングペーパーを置いて、トレーシングに鉛筆でデッサンをする。

④和紙とトレーシングの間にチャコペーパーをおき、転写する。

⑤墨で輪郭線を引く。



⑥松葉緑青で体、顔を平筆などでフラットになるまで何度も重ね塗りをする。群青で鶴を塗り、朱で輪郭線を強くする。



⑦扇面のマットを当てて、全体の見え方を確認しながら描き込んでいく。  
⑧髪の毛の部分に金箔を押す。

#### 使用した主な画材

##### ◆岩絵具・水干絵具

得応軒：天然岩群青 11 番(15g 2000 円)、朱(15g 800 円程度)、松葉緑青 11 番(15g 1800 円程度)、岩黒(15g 400 円程度)

彩雲堂(京都)：水干絵具《2 番、83 番、20 番(各 15g 200 円程度)》

##### ◆筆・刷毛

得応軒：天然即妙大( 2900 円)、 刷毛は 10 cm程度を 3 本

◆他：金箔 2 枚、木製パネル m12 号 (1200 円) チャコペーパー、トレーシングペーパーA3、雲肌麻紙ドーサ引き三六判(7700 円) 、膠 (飛鳥)、絵皿 大 3 枚・中 4 枚